

日本歴史言語学会 2026 年大会

開催のご案内

清秋の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。長引く暑さもようやく落ち着きを見せ始め、朝晩は肌寒い風さえ吹くようになってまいりました。しかし一方では、日本列島各所で台風・雨に見舞われる日々が続いております。水害等の被害に遭われた会員の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年も本学会大会のご連絡を差し上げる季節となりました。今年は東京外国語大学（府中キャンパス）での開催となります。本学会では、コロナ禍収束後も大会のハイブリッド開催を続けておりましたが、今年は試験的にこれをやめ、対面のみで開催とさせていただくことになりました。遠方の会員にはご不便をおかけするかも知れませんが、ご理解のほどお願い申し上げます。同時に、この機会にぜひ会場まで足をお運びいただき、2 日間の学会と懇親会にて直接参加者同士の交流を深めていただければと望んでおります。1 日目は公開シンポジウム「韓国語史研究の成果と課題」が、2 日目は 7 本の研究発表が予定されており、今年も非常に充実したプログラムとなっております。会員の皆さまはもちろんのこと、周りの方々もぜひお問い合わせの上お越し下さい。12 月に皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。

日本歴史言語学会 会長 堂山英次郎

記

開催日時	2026 年 12 月 5 日（土）・6 日（日）
開催場所	東京外国語大学府中キャンパス（東京都府中市朝日町）
受付場所	東京外国語大学 留学生日本語教育センター 入口
会場	東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール

※ 現地開催のみとなります。Zoom 等での配信は予定しておりませんが、不測の事態によりオンライン開催となった場合は、会員 ML および学会 HP 上でご連絡します。

※ 非会員でご参加希望の方は、11 月 27 日までに、専用 Google フォーム（<https://forms.gle/TKS5s9uSEMcoPMaAA>）からお申し込みください。参加費 2000 円の支払い方等について返信いたします。なお、1 日目のシンポジウムは公開（参加無料）ですので、申し込みの必要はありません。

※ 懇親会にご参加希望の方は、会員・非会員にかかわらず、11 月 13 日までに、専用 Google フォーム（<https://forms.gle/cDeYZZ9CYEHJLteE8>）からお申し込みください。なお、懇親会費は当日受付でお支払いください。

大会参加費	日本歴史言語学会会員は無料 非会員：2,000 円（一般）、1,000 円（学生） 【1 日目のシンポジウムは公開。無料】
懇親会費	5,000 円（一般）、3,000 円（学生）
大会委員長	平子達也（南山大学）

日本歴史言語学会 2026 年大会 プログラム

第 1 日目 12 月 5 日（土）

12:45～	受付	場所	東京外国語大学 留学生日本語教育センター入口
13:15～	開会式	会場	東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール
	開会の辞	会長	堂山英次郎（大阪大学）
13:30～17:30	公開シンポジウム	会場	東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール
18:00～20:00	懇親会	会場	東京外国語大学 大学会館 ホールダイニング

韓国語史研究の成果と課題

司会：福井 玲

趣旨説明、講演 1 福井玲（東京大学）

韓国語音韻史研究における残された課題

講演 2 伊藤智ゆき（東京大学）

中世韓国語の音素配列と韻律構造

講演 3 伊藤英人（専修大学）

韓倭借用語初探

講演 4 河崎啓剛（東京大学）

韓国語文法の再発見—歴史言語学と対照言語学から—

講演 5 杉山豊（京都産業大学）

朝鮮語史資料としての‘諺解’の諸相

全体討論

※ 本シンポジウムの趣旨および各講演の要旨については、別添の「要旨集」を参照ください。

※ 本シンポジウムには、会員以外の方も参加いただけます（無料）。

第2日目 12月6日（日）

- 9:30～ 受付 東京外国語大学 留学生日本語教育センター入口
会場 東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール
- 10:00～10:35 **口頭発表 1** 和田有梧（東京外国語大学）
Bal Bod gnyis kyi skad gsal ba'i me long に記録された近代チベット語とネワール語: 自己
知標識 (egophoric) の熟知用法に着目して
司会：西田文信（早稲田大学）
- 10:40～11:15 **口頭発表 2** 河原亮（無所属）
上古・口蓋垂音 /*g-/（おおむね中古・云母，匣母 /*ɦ-/）の漢代における残存状況
司会：西田文信（早稲田大学）
- 11:20～11:55 **口頭発表 3** 海田皓介（明治大学）
西ゲルマン語における文脈導入の定型表現
司会：入江浩司（金沢大学）
- 11:55～13:00 休憩
- 13:00～13:20 総会
- 13:30～14:05 **口頭発表 4** 宋歌（東北大学大学院）
江戸後期口語文と明治期口語文の文体史的系譜—江戸講義物の影響を中心に—
司会：平子 達也（南山大学）
- 14:10～14:45 **口頭発表 5** シモン・ゴンサルベス（総合研究大学院大学）
日琉諸語におけるインバーシブ派生—通時類型論的な観点から—
司会：平子 達也（南山大学）
- 14:45～15:05 休憩
- 15:05～15:40 **口頭発表 6** 白鳥詩織（京都大学大学院）
日本諸語からみる日琉祖語の強勢配置
司会：平子 達也（南山大学）
- 15:45～16:20 **口頭発表 7** 西村康平（青山学院大学）
『万葉集』地名字音表記の音韻制約による分析
司会：平子 達也（南山大学）
- 16:20～ 閉会の辞 副会長 大木一夫（東北大学）

※ 各口頭発表の要旨については、別添の「要旨集」を参照ください。

交通と会場のご案内

東京外国語大学府中キャンパス（東京都府中市朝日町）は

JR 中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩 5 分
京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約 10 分 「東京外国語大学前」下車
です。

キャンパスマップ（東京外国語大学府中キャンパス HP より）

会場は 10. 留学生日本語教育センター です。



お知らせ

入会と会費納入

日本歴史言語学会では会費を低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方の入会・参画を歓迎しています。

入会には以下2点が必要です。詳しくは<http://jp-histling.com/information/admission/>をご覧ください。大会での紙媒体による入会申込（年会費支払を含む）は、転記ミス等防止のため大会時の受付では対応しておりません。事務局宛てにメールにて随時お申し込み下さい。

1 入会申込書の提出

入会申込書は上記 URL から入手できます。メール添付にて事務局まで提出下さい。

2 年会費の納入（現会員の方も御高配ください）

郵便振替口座をご利用ください。

郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはご住所、お名前、払込金の用途（例えば「普通会員 2026 年会費」）とメールアドレスを記載してください。郵便局（ゆうちょ銀行）へは、一般銀行やネットバンクからも納入できます。

なお、2017 年度から会費が変更されています。ご注意ください。

普通会員 6,000 円（下記以外の会員）

学生会員 3,000 円（学生である会員）

シニア会員 3,000 円（定年退職後定職を持たない会員）

賛助会員 10,000 円（一口）（趣旨に賛同する法人等）

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

学会誌『歴史言語学』

日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』（*Historical Linguistics in Japan: HLJ*）はわが国の歴史言語学徒を繋ぐ市販の定期刊行物です。既刊 1～5 号については各種書店、Amazon.co.jp あるいは大学教育出版からお求めください。6 号以降については、学会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

会場および大会について：大会委員長 平子達也（南山大学）[hirako\(AT\)nanzan-u.ac.jp](mailto:hirako(AT)nanzan-u.ac.jp)

その他：事務局長 上野貴史（広島大学）[info\(AT\)jp-histling.com](mailto:info(AT)jp-histling.com)

日本歴史言語学会
Japan Society for Historical Linguistics: JSHL

会長 堂山英次郎
<http://www.jp-histling.com>